

# 自治基本条例策定委員会委員が推す 山北町自治基本条例前文で使用する語句

平成23年12月1日作成

使用したい言葉	理由
御殿場線沿い桜並木の通り	山北駅西側の樹齢約50年のソメイヨシノ約130本の桜並木は「かながわのまちなみ100選」に選ばれた桜並木です。桜のトンネルを走る御殿場線は絶好の撮影スポット。
大野山	大野山は家族連れなどに人気のハイキングコース。
鉄道唱歌、もみじ祭り、ボート、サイクリング、キャンプ	
西丹沢(丹沢大山国定公園)	雄大な景色ときれいな空気や水が町外の方々にも容易に分かって頂ける。
首都圏から80km圏内	この条件を生かした町づくりができたらと望んでいます。
日本のふるさと水と緑の山北町	丹沢山塊(連峰)は日本列島のひな形と言われている。
水源地、水源の森林	山北町は水源地としてのイメージが近隣には定着していると思う。
静岡県、山梨県との県境	山北町を知らない人でも具体的に場所(位置)を想像しやすいと思う。
明治の文明開化と共に発達した鉄道により出来た「鉄道の町」	
江戸年間に川の流れを変え、開拓によって町の中心部が発達した町(皆瀬川の掘割工事を行った)	
神奈川の屋根を抱く西丹沢の表玄関	原生林、溪谷・清流、神奈川の水源地の町
箱根越えの要衝の地	関東への入り口、鉄道・高速道路の町